



ジャンボ!とは、スワヒリ語で「こんにちは」の意味。転じて、この「出会い」を楽しむ関係=ネットワークづくりのココロイキとして、名づけました。

発行：もっともっと環境塾 2000 編集：ジャンボ環境塾
住所：〒460-0008 名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ12F
なごやボランティア・NPOセンター 気付 メールボックス NO.4
URL: <http://www.geocities.jp/mottomottokan2000/>
E-Mail: motto2_2000@hotmail.com
メーリングリスト: motto-2@yahoogroups.jp

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかなお正月をお迎えのこととお喜び申し上げます。

早いもので、「もっと2」が誕生して、今年で5年目。本当にあっという間だったような気がします。おなじ年に生まれた赤ちゃんも、5歳になり、幼稚園の生活にも慣れてきているころでしょうか。

「もっと2」の、長男『カンちゃん』も本当に、たくましく成長したと思います。この4年間で、何人の子どもたちと出会ったでしょう。『カンちゃん』が、みんなに【環境問題を考えるきっかけ】を与え続けてくれたのも、『カンちゃん』が、特別な子ではなくて、ふつうの子だったからだと思います。「もっと2」も同じ。活動を続けてくれたのは、「ふつうの市民」の集まりだからではないでしょうか？環境問題の取り組みは、ふつうの人がふつうに暮らしながら、考えたり、取り組んだりできなければ、解決しないと思います。

酉年の今年、5年間で、ヒナ鳥から親鳥に成長できた「もっと2」の活動の方向性として、学校や地域、いろんなところに「きっかけ」の「たまご」を産んでいけたらいいなあと思います。

今までどおり、ゆっくり・じっくり、「もっと2」らしく……

今年もよろしく願います。(K.A)

平成17年・1月吉日

今年度の活動実績 2004年9月～

2004/12/12(日)	12月 定例会
2004/12/11(土)	なごや環境塾 修了式 交流会
2004/11/28(日)	「カンちゃんのダメダメ日記」第4回うえみなフェスタ
2004/11/24(水)	「カンちゃんのダメダメ日記」名古屋市立大杉小学校
2004/11/11(木)	「市民による環境問題の取り組み」JICA 研修会 講師
2004/11/10(水)	キッズ ISO プログラム「地球温暖化」中区 大池保育園
2004/11/2(火)	キッズ ISO プログラム「地球温暖化」天白区 高坂幼稚園
2004/10/16(土)	10月 定例会
2004/10/6(水)	「カンちゃんのダメダメ日記」名古屋市立ほのか小学校
2004/9/28(火)	「カンちゃんのダメダメ日記」名古屋市立八事小学校

なごや環境塾 修了式 交流会 2004.12.11(土) 参加者: 2名

第5期のなごや環境塾が終了しました。その修了式の後、今までの修了生との交流会がエコパル主催で開催されました。

第1期の修了生である「もっと2」からは、2名が参加しました。

第5期生は、最後の講座の後、修了式を済ませました。その後の交流会では、各期の活動報告が紹介され、それぞれのグループに分かれ、意見交換をして交流しました。

なごや環境塾 修了生 各期の活動

- ・ 第5期
 - ・大高緑地グループ・・・大高緑地公園をフィールドに自然環境保全活動を計画。
 - ・ガイアの声グループ・・・みそに注目し、グリーンコンシューマー活動を計画。
 - ・環境楽習グループ・・・ペープサートなどの手法を使い、環境教育活動を計画。
- ・ 第4期 小幡緑地公園で自然観察活動。2期生と連携し、大将ヶ根で活動。
- ・ 第3期 「三環の会」 エコパルなごやのマンスリー企画で活動展示(2004年12月)。
昭和生涯学習センターでグリーンコンシューマー講師。
なごやキッズ ISO サポーター活動。
- ・ 第2期 「ふれ愛環境塾」 名古屋市市民緑地第1号「大将ヶ根ざわざわ森」で里山づくり活動。



第1期の「もっともっと環境塾2000」は、環境紙芝居「カンちゃんのダメダメ日記」やなごやキッズ ISO プログラム「地球温暖化」を中心に、今までの小学校・幼稚園・環境イベント等へ参加した活動状況を知らせました。

プログラムづくりにおいて、何を伝えたいのかというねらいの重要性を説明しました。環境学習のツールについて質問があり、課題について互いに話し合うことができました。

「カンちゃん」を参考に新しいプログラムが生まれ、この交流会が、新しい出会いとなることを願います。



水中映像を通じて深まる環境への意識 (文:J.H)

ここ3年ほど水中写真にはまって、色々な海に潜っている。

日本の海では主に伊豆、越前、串本、沖縄、そして海外ではハワイ、グレーバリアリーフ、タイ、パラオ等々、時間をなんとか作ってでかけてしまうその魅力は、その海のすばらしさはもちろんのことだが、それ以上に、その海にはぐまれている生き物、生活する人々が、本当に素朴、かつ自然体で素直に海と共生する姿だと感じている。

そしてこのすばらしさを最初に私に教えてくれたのが、3年前に知りえたフランスからの水中映像祭。30年以上も前から続くこの映像祭では、作品で海のすばらしさを紹介してくれる写真家、映像家はいずれも最前線の実践型環境保護者であり、とても謙虚に海と接している。この映像祭の通訳などをボランティアで手伝うようになって2年経ち、果ては北極の凍った海から近くは大阪湾まで、多様な海との関わり方があることもだんだん知りえるようになった。

私の作品はまだまだですが、フィルターをとおして、この海や自然をそこなうことなく共存してゆきたいと、頭で考えるのではなく身体の芯から、そんな思いがしみでてくるようになってきたようにも感じる。日々の身近で地道な地域活動とともに、広く繋がる大きな海へのロマンを抱きつつ、小さくとも新たな感動を見つけながら、これからも私にできる形で、環境や地球との関わりを楽しくきづいてゆきたいと思っています。

今度、また映像祭が名古屋であるときはご案内しますね。

近況報告

(文:M.A)

やはり年齢は正直者です。私も最近、めっきり疲れを感じる事が多くなりました。

「もっと2」の活動の他に、今年は私の地域、千種区田代小学校から保健委員の話を通じて環境の勉強を進めたいと、声をかけていただき、6回も小学校へ出向きました。

本年、田代小学校は「全国社会科小中学校研修会」の指定校ということで数多くの行事をこなされました。私も4年生・4クラスを毎週1クラスずつ、一緒に勉強させていただきました。

「ごみと住みよいくらし」「環境推進都市名古屋の挑戦」。その中の一つ、先生が大きな袋3つにいろいろなごみを用意されました。それを生徒全員で分別しました。

家庭では親が分別してしまうので、その光景を見ていてびっくりしました。いろいろ環境について勉強していて、生徒の口からリサイクルという言葉が出たにもかかわらず、ほとんどが可燃ごみに分別されました。その後、私が説明しながら分別した結果、山積みになっていた可燃ごみは、一つかみの量になりました。生徒からどよめきとも歓声ともつかない声があがりました。きっと分別に対する知識ができたことと思いました。

10月28日、いよいよ本番。全国から先生方が田代小学校へ来訪されました。私も公開授業に参加させていただきました。1ヶ月前は、手を挙げる生徒はまばらでしたが、驚くほど積極的、私の参加したグループ発表も、全員がやりたいと主張し、思わず私がジャンケンで決めたらと、結局けりがつきました。

大変、楽しい経験をさせていただきました。



今回の全国大会は、ひまわり学級の「自分たちの生活とリサイクル」、1年生の「秋とのふれあい」、2年生の「まちのすてきな人との出あい」、3年生の「覚王山商店街のまちづくり」、4年生の「石川マテリアルと名古屋市のごみ減量への挑戦」、5年生の「東海地震とTV局の役割」、6年生の「愛・地球博を通して考える環境問題への国際貢献」などの学習を通して、社会への見方考え方や社会とのかかわり方を学んでいこうとするものだそうです。

ごみ問題は子どもたちの生活に密着しており、学習内容が具体的で、調べたり考えたりしたことをうまく整理できたので、大会での子どもたちは、すごく満足そうないい表情で学習に取り組んでいたようです。

田代小学校では、以前より、多くのゲストティーチャーを招いており、10月28日だけでも、田代学区の人5人、城山中学校の先生、生徒会長と天晴城山のリーダー、学区保健委員さん、保護者を含めた地域代表3人、市ごみ環境局減量推進室の方、石川マテリアルさん、NHK報道部の方、中日新聞社会部の方、環境省中部地区地方環境対策課の方を迎えていました。そんなゲストティーチャーの一人がAさんだったんですね。



うえみなフェスタ

2004.11.28(日) 名古屋市立植田南小学校(天白区)

PTA 会長であり、「もっと2」のMさんのお声かけにより実現した PTA 主催行事に参加しました。

「かんきょう」をテーマに、「エコ集まれ！！～愉快地学習・わくわく体験～」として第4回のうえみなフェスタが植田南小学校で行われました。参加した親子などがスタンプラリーをしながら、教室や運動場で実施されたコーナーを回ります。

もっと2は、校舎の一室に設けられた環境紙芝居コーナーで「カンちゃんのダメダメ日記」を実施しました。1回の平均対象参加者は約30名で、5回の熱演でした。

目からウロコの『買い物ゲーム』 (文:K.A)

最近の私の活動の一つに、『買い物ゲーム』があります。

もともとは、沖縄リサイクル運動市民の会の活動のひとつ。それを元に発行されている本があるので、それを参考にし、北区のグリコンガイド製作チームの人たちと、ツールを作りました。

カレーを作るという設定で、手作りの肉や、野菜、飲み物を並べて、“グリコンスーパー”をオープンさせます。所持金内でお買い物をしたあと、包装材にかかる処理費を払ってもらいます。

ごみにかかる処理費はどんなところにかかっているのか、それをどうしたら減らせるか。アイデアを出し合ったあと、もう一度買い物をすると……どのグループも、処理費が減っていることに気がつきます。買い物をするときの、視点を変えることで、ごみも減らせるし、環境にやさしい買い物ができることを気づくことができるゲームです。

対象は、小学生高学年から一般なので、小学生や、親子講座、PTA セミナー、保育士研修会などで、実施してきました。体験型なので、楽しみながら、環境問題を考えるきっかけになり、好評です。来年の1月、2月にも、3つのオファーがきています。

“カンちゃん”同様に、市民の目線で、肩に力を入れずに、いろんな人の【はじめの一步】のきっかけを作っていきたいと思っています。



Eco・エコ買い物ゲーム

ごみを減らす体験学習プログラム

山本耕平 / 編著

福岡智子 / 編著

古我知浩 / 編著

合同出版 2,730 円

お知らせ掲示板

- ・ 1月 定例会 2005年1月23日(日) 13:30~15:30 千種区城山町
- ・ 2月2日(火) 「カンちゃんのダメダメ日記」 道徳小(南区) 4年生
(香港のテレビ局が取材予定)
- ・ 庄内小(西区)4年生でも環境学習のまとめとして 2月9日(水)に参加予定です。

* 以上、参加者募集中。詳細は、Aまでお願いします。

編集後記

!!! HAPPY NEW YEAR !!!

新しい年を迎え、気分も何となく新鮮な気持ちになるのは、例年のこと。今年は、愛・地球博が開催される年です。万博後がどうなるかも考えなくてはならないでしょう。

また、京都議定書が2月16日に発効し、地球温暖化防止に向けた動きが騒がしくなりそうです。

「環境問題」が、大きくクローズアップされますが、有史以来の問題だけに細くても、ながーく続けることも大事だと思います。

さあ、「もっと2」がトリのようにはばたくことを願いながら、...

みなさまもよい年に!!!

(BY ドクダー)

もっとも
2000年
環境